

Classic SL (ワンポイント操作法)

CLASSIC SLを標準状態で使用するには、SENS ON/OFFスイッチノブを“P”プリセット位置にしてDISC ノブをRING RANGEの“P”プリセット位置にし、ALL METAL トグル(ハンドルバーに付いている小さな引き金状のレバー)を中央のDISCポジションにしてください。SENS スイッチは感度調整用ツマミで時計周りにまわせば廻すほど深くまで探知できます。DISC スイッチは金属識別スイッチです。時計周りに廻すと細かいものには反応しなくなります。通常は両方のスイッチとも“P”ポジションで大丈夫です。

- * ブラックサンド(Black Sand)スイッチは砂浜などの砂鉄分が多いところで ON にして使ってください。それ以外は OFF で結構です。
- * FRQ スイッチは探知機を複数で使用の際に周波数が相互干渉しないようにする機能です。1 台で使う場合は使用する必要はありません。

ループ(円盤)は金属に反応するように地面から5cmくらいを左右に継続して動かしてください。もし動かない場合は反応しません。

パイプなどがあるとスムーズで継続したブザー音になります。またボトルの蓋やキャップは途切れがちな音がします。

正確な位置をピンポイントで探すにはALL METAL トグルを指でひき、テンポラリー位置にしたまま 目標物の上で X(クロス)を作るよう動かして下さい。目標物の上でディテクターは大きく継続して鳴ります。ALL METALトグルを離せば自動的にDISC位置に戻り、また継続して次の目標物を探すことができます。

* 通常はハンドルについているトグル(引き金状の小さなレバー)は中立の位置にして使用ください。中立の位置は一度ひいて指を緩めるとひとりでに帰った位置の事です。



* 先端のループは上の写真の様にシール面が上に来るようにしてください。